



PRESS RELEASE

2021年5月20日

アッヴィ、2020年の日本の業績と新5カ年計画 Road to the Best を発表

- 2020年の売上高は、1,137億円(日本法人決算)。3年連続、1,000億円超を達成
- 2013年の会社設立から、2020年までの年平均成長率は約10%の二桁成長を達成し順調に成長
- 2025年までの目標は二桁成長。豊富なパイプラインにより、免疫ロジックと血液がんの領域におけるリーダーを目指す
- 新5カ年計画 "Road to the Best" を着実に実行していくことで、ベストカンパニーを目指し、患者さんの笑顔へ貢献

アッヴィ合同会社(本社:東京都港区、社長:ジェームス・フェリシアーノ)は本日、日本の2020年の業績、前5カ年計画(2016-2020)の総括、そして新5カ年計画(2021-2025)の"Road to the Best"の発表を行いました。

2020年の売上高は1,137億円でした。前年比9%減ではあるものの、2018年から3年連続、1,000億円超を達成しました。C型肝炎の市場が縮小していることが売り上げ減への要因として挙げられますが、コロナ下にあって、ヒュミラ[®]の適応拡大、リンヴォック[®]の発売、その他の主要製品が成長したことが売り上げに寄与しています。また、前5カ年計画の開始年である2016年比では36%増となりました。この5年間において、5つの新製品を上市し、適応等の追加の承認は14ありました。開発品目数は2020年には2016年比で282%増(11 vs 42)、臨床試験数は155%増(29 vs 74)を達成。アッヴィは前5カ年計画により急成長し、2013年の事業開始から2020年までの7年間の年平均成長率約10%の二桁成長を達成しました。

社員数も2016年比で34%増となり現在は1,300人超の社員がいます。社員の働きがいや成長に重点的に取り組み、2018年から実施している社内調査では、社員のエンゲージメントレベル*は90%台をキープする結果となっています。働きがいのある会社ランキング2020では、これまでで最高の11位にランク入りするなど第三者機関からも評価を得ることができました。

*「企業ビジョンや目標の実現にむけて、自分の能力を発揮し貢献したい」に対する肯定的回答

● 2021年、新5カ年計画“Road to the Best”始動

2025年までにベストカンパニーになるという目標を掲げ、新5カ年計画 – “Road to the Best”が始動しました。”Road to the Best”では、前5カ年計画の柱を発展させた、「働きがいの追求」、「ビジネスの成功」に、新たに「社会とのつながり」を追加しました。これら3本柱がベストカンパニーになるために最優先で取り組んでいく戦略的施策です。

「働きがいの追求」では、社員がポテンシャルを最大限に発揮し毎日ワクワクしながら働き、自分で描いた未来に向かって成長の加速を実感できる会社になるというビジョンを描いています。

「ビジネスの成功」では、ビジネス環境の変化を察知し、適応していく実行力をさらに高め、現在の製品ポートフォリオと新製品の上市成功、そして患者さんに新たな価値を提供し続けることによって、患者さんの笑顔にさらに貢献していくという強い姿勢を示しています。免疫ロジー（免疫）では、適応拡大等が15以上、がん領域ではベネクレクスタ®での適応拡大が4、ベネクレクスタ®以外の血液がんの開発品目数**は5です。また、固形がんの開発品目数**は14と、豊富なパイプラインが成長をけん引することが期待されます。

**血液がんと固形がんの両方で開発中のものはそれぞれに含めています。

「社会とのつながり」では、これまでも患者さんにとりまく環境をより良いものにするための取り組みや、ボランティア活動を行ってきました。それをさらに発展させ、広く社会の持続可能な発展のために社会課題に取り組んでいきます。

社長のジェームス・フェリシアーノは次のようにコメントしました。「“Road to the Best”策定のプロセスには社員が関わり、名前も社員から募集して選ばれたものです。”Road to the Best”には、ベストな会社、No.1、only oneの会社、そういった想いが込められています。私たちは2025年に向かって、二桁成長を目指します。今後の成長は免疫ロジーとオンコロジーの豊富なパイプラインがけん引していくことになるでしょう。今後のニューロサイエンスにおける開発も期待が持てます。私たちはこれからも、患者さんに笑顔になっていただくことを目指し医療への貢献はもちろん、医薬品の提供にとどまらず、誰もが自分らしく生き・働くことができる社会の実現に貢献してまいります」



2020年～2021年5月までの申請・承認マイルストーンについて

免疫疾患(免疫学)

- ▶ リンヴォック[®]、製造販売承認取得
 - 2020年1月、既存治療で効果不十分な関節リウマチ(関節の構造的損傷の防止を含む)の効能・効果で承認取得
- ▶ リンヴォック[®]、適応追加承認申請
 - 2020年6月、既存治療で効果不十分な乾癬性関節炎の適応追加承認を申請
 - 2020年10月、中等症から重症のアトピー性皮膚炎の適応追加承認を申請
- ▶ ヒュミラ[®]、用法・用量の一部変更で承認取得
 - 2020年5月、化膿性汗腺炎の効能・効果に係る用法・用量の製造販売承認事項一部変更で承認取得
- ▶ ヒュミラ[®]、適応追加承認申請・承認取得(世界初)
 - 2020年2月、壊疽性膿皮症の適応追加承認を申請。11月、承認取得
- ▶ ヒュミラ[®]、用法・用量追加承認申請
 - 2020年11月、潰瘍性大腸炎の小児における用法・用量の追加承認を申請
- ▶ スキリージ[®]、製造販売承認申請
 - 2020年9月、新規剤形に関する製造販売承認を申請。本剤の効能・効果は、既存治療で効果不十分な尋常性乾癬、乾癬性関節炎(関節症性乾癬)、膿疱性乾癬、乾癬性紅皮症

ウイルス

- ▶ マヴィレット[®]、適応追加承認申請
 - 2021年4月、3歳以上12歳未満の小児C型肝炎に対する適応追加承認を申請

がん

- ▶ ベネクレクタ[®]、適応追加承認申請・承認取得
 - 2020年6月、急性骨髄性白血病(AML)に対する希少疾病用医薬品の指定を取得
 - 2020年6月、急性骨髄性白血病(AML)の適応追加承認を申請。2021年3月、承認取得

アッヴィについて

アッヴィのミッションは現在の深刻な健康課題を解決する革新的な医薬品の創製と提供、そして未来に向けて医療上の困難な課題に挑むことです。患者さん一人ひとりの人生を豊かなものにするため次の主要領域に取り組んでいます。免疫疾患、がん、神経疾患、アイケア、ウイルス、ウイメンズヘルス、消化器疾患、さらにアラガンエステティクスポートフォリオの製品・サービスです。アッヴィの詳細については、www.abbvie.comをご覧ください。Twitter アカウント [@abbvie](https://twitter.com/abbvie)、[Facebook](https://www.facebook.com/abbvie)、[LinkedIn](https://www.linkedin.com/company/abbvie) や [Instagram](https://www.instagram.com/abbvie) でも情報を公開しています。

日本においては、1,300人を超える社員が、医療用医薬品の開発、輸入、製造販売に従事しています。自己免疫疾患、新生児、肝疾患、神経疾患、がんの各領域を中心に、患者さんの人生を豊かにしたいと願い、日々の業務に取り組んでいます。詳しくは、www.abbvie.co.jpをご覧ください。